

かめやま教育通信

第57回



新図書館の整備を進めています

令和5年、JR亀山駅前に、「新図書館」が開館する予定です。新図書館は地上4階建てで、1階から上階に向かうにつれて、『動』から『静』へと段階的に機能が変化する配置としています。今回は、各フロアの特徴と機能について紹介します。

1階：本との出会い・市民交流を軸としたフロア



正面玄関とエントランスロビー付近のイメージ

メインエントランスとなる1階には、さまざまな情報や文化の発信を通して知への出会いを創出する亀山文化情報プラザを配置します。情報プラザでは、亀山にゆかりのある文化人や地域の魅力を発信し、本との出会いにつなげていきます。また、市民活動の発表や創作物の展示ができる多目的室や、さまざまな会話や出会い、学びを楽しむことができるブラウジングコーナーを設置することで、人や文化、学びなどがつながる場を創出します。

2階：児童・親子で過ごすフロア



鉄道の転車台をモチーフにした2つの半円形の書架

親子、子どもがゆっくりと読書に親しむ時間を過ごせるように、授乳室、静音室、幼児用トイレなどを設けるほか、壁側には、親子と一緒に本を読むことができるスペース等を配置します。また、靴を脱いで座ったり、寝ころんだりして自由に過ごすことができるおはなしの部屋では、読み聞かせや紙芝居も行うことができます。

3階&4階：2つのフロアが1つになった、ゆったりと静かな学びの空間



フロアを西側から見た、吹き抜けのある学びの空間

3階の開架書架エリアの外周には、南側に広がる山々や駅周辺の眺望を楽しみながら読書や学習ができるカウンター席を配置します。また、駅前ロータリーや周辺の景色を一望できるテラスにはベンチを配置します。外でも読書を楽しむことができるようにするほか、東側奥には、個別・グループでの利用が可能な学習室を配置します。

4階公開書架エリア前の吹き抜けに面した部分にも、ゆったりと読書や学習ができる閲覧カウンターを配置します。

知との出会いとその蓄積の場、市民の誰もが集える場を目指して

一人ひとりの読書活動による知との出会いが深い学びへと広がり、高められた知を活かす場としてさまざまな交流活動が生まれます。そして、交流活動によって生み出された新たな知が亀山市の文化として蓄積され、次なる学びへとつながっていく、そんな場となる図書館を目指しています。

問合先 教育委員会事務局生涯学習課社会教育グループ (☎84-5057)